

# Information of Kagamifuchi

2025. 1. 15 新潟市立鏡淵小学校

1月7日 全校朝会 校長講話より

## 「節目のとき」を前にして

冬休み前の全校朝会で、「新しい年に」という詩を紹介しました。「新しい年を迎え、自分にも、新しい何かができそうだ」という気持ちを表した詩でしたね。今、皆さんの心には、「こんな自分になりたいな」「こんなことを頑張ろう」という思いがあることでしょう。ぜひ、自分のめあてに向かって、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

### 節目(ふしめ)

前期・後期の始まり  
大きな行事の後

卒業(6年生)  
進級(1~5年生)

「節目(ふしめ)」という言葉があります。もともとは、竹などの成長に必要な節(ふし)のことです。この節目があるから、竹は強い風が吹いても雪が積もっても、しなやかに曲がって折れることはありません。

そのことから、この言葉は、人が成長していくときの大切な区切りを指すようになりました。

学校では、前期・後期の始まりや、大きな行事の後などが節目にあたります。

では、「学校でいちばん大切な節目は何ですか」と聞かれたら、皆さんはどう考えるでしょう。その答えとして、よく言われるのが「卒業、進級」です。

小学校・中学校を卒業した後も、「人生の節目」と言われるものがあります。例えば、成人を迎えるとき(大人になるとき)、新しく仕事につくときなどです。長い人生の中でもそう度々あるものではありません。

また、おうちの方にとっては、皆さんが生まれてきた日もずっと忘れられない「節目のとき」となっているはずです。

校長室の棚には、鏡淵小の昔の資料が大切にとってあります。その中で、皆さんが生まれるずっと前の子どもたちが書いた作文がありました。テーマは、「二分之一 成人式」です。10歳になり、身近な人たちに「今までありがとう」「これからも頑張ります」という気持ちを書いて伝えたものです。

(当時の子どもたちが書いた、家族へのメッセージの一部を提示)

文字も、とてもしっかりとしていますね。きっと何度も直しながら丁寧に書いたのでしょう。

これから、卒業や進級に向けた準備が始まります。卒業や進級は、「ゴール」ではありません。自分の夢、目標に向かって新しい一歩を踏み出す「スタート」です。

皆さんは、これまで大勢の人たちに助けられ、見守られて成長してきました。

#### 【学校では】

- 友達（同じ学年 ちがう学年）
- 卒業していった お兄さん お姉さん
- 見守り、支えてくれた  
今の先生たち 鏡淵を出られた先生たち

#### 【地域では】

- 勉強や活動を応援してくれる方々
- 安全を見守ってくれる方々
- 「思い出に残る行事」を考えてくれる方々

同じクラスの友達、違う学年の友達。皆さんとのたくさんの思い出を残し、卒業していったお兄さん・お姉さんたち。

皆さんに勉強などを教えてくれる先生たち。そして、皆さんに見えないところで、いろいろな仕事をしている先生たち。今は鏡淵小を離れ、皆さんを心の中で応援してくれている先生たちもいます。

地域の方々も、皆さんの学習や活動を応援し、安全を見守ってくれています。皆さんの心に残るような行事を考え、準備をしてくれていますね。

そして、皆さんの成長を願い、ずっと支えてきてくれたのは、おうちの方です。

#### 【皆さんの おうちでは・・・】

おうちの方は、だれよりも長い間、  
皆さんを見守り、支えてくださっています。

皆さん自身も心が成長してきているし、おうちの方も、皆さんを大切に思うからこそ、ときには、互いの考えが合わなかったり、すれ違ったりすることもあると思います。これまでも、そして、これからもずっと皆さんのことを一生懸命に考え、見守り続けてくれるのは、おうちの方です。

自分自身の頑張りや成長を振り返るとき、大勢の人たちのおかげで 今の自分があるということを、心の中でしっかりと確かめてほしいと思います。

終わりに、さっきお話した「二分の一 成人式 おうちの方へのメッセージ」の一部を紹介します。

#### （当時の児童 2名のメッセージを紹介）

卒業、進級まで残り 50 日と少しです。これからも、多くの人たちが皆さんの頑張り、成長を支えてくれます。「今までありがとうございます」「これからも頑張ります」という感謝・決意の気持ちをもって 3 月末～4 月を迎え、よいスタートを切ってほしいと願っています。